

すすき通信

平成21年6月25日号

発行 (特)生石山の草原保存会 〒640-1121 和歌山県海草郡紀美野町下佐々468番地
ホームページ (http://www.kimino.jp/oishi/npo.html) 山の家おいし (TEL&FAX) 073-489-3586
口座 (郵便振替口座)00910-7-240333 (加入者名)特定非営利活動法人 生石山の草原保存会
編集局 (Email) susukituusinn@yahoo.co.jp (TEL)090-9996-1036

§ 行事案内 §

初夏の山野草観察会
7/5 10:00~
集合 山の家おいし

ジャズ フェスティバル
7/25 17:00~
詳しくは、同封チラシを

7月~9月
行事案内

生石山'09親子自然塾
募集開始
詳しくは同封チラシを

生石山の自然講座
募集開始
詳しくは同封チラシを

§ 初夏の山野草観察会 §

7/5 (日) 10:00より、
初夏の山野草観察会を開催します。
少雨決行。(06:00時点の降水確率>40%の場合は中止)
生石山の花索引から幾つか転載しました。



ササユリ



カキラン



モウセンゴケ

またたび (木天蓼) 猫の大好物として知られています。木天蓼 (もくてんりょう) は、本来、この植物の虫瘤 (むしこぶ) ができた果実を乾燥してつくる生薬 (鎮痛・強壮薬) のことだそうです。ふつうの果実は果実酒や塩漬けに利用されるとのことです。名の由来に疲れはてた旅人がこの果実を食べると元気を取り戻してまた旅を続けることができたから、というのがありますが、どうでしょうか。アイヌ語由来とする説も有力のようです。花の頃には枝先の葉が白くなって目立ちます。写真では若い果実が認められます。花は2センチくらいの白い花で芳香があるとのことですが、近づくことができず、確認できませんでした。

§ 6月行事報告 §

会員の丸谷栄彦さんが、5月27日海南高校大成校舎で、「生石山の自然環境と植物、その保護活動」と題した授業を行いました。左が丸谷さん。右の林先生の一言「そこにあるからこそ美しい」を生徒も理解してくれたことでしょう。



§ 6 月行事報告 (続き) §

6 / 13 (土)、ボランティア・クラブ「ピース・クラブ」の呼びかで、海南高校大成校舎の生徒の皆さんが、イタドリ退治に来てくれました。



集まってくれた生徒たち



退治前、イタドリがびっしり



わかやま新報の前田記者が取材に



常連のおいやん達も頑張ってます



今年入会してくれ、早速サポートに来てくれた柳瀬ご夫妻。ご主人は、山好きの(だけど生石山には来たことなかった)元学校の先生。夫人は今年、鮎とあまごの年券を買って、早速成果があがっているとか。



藤原さん(左)と柳瀬さん(右)に、ちょっとインタビュー。

Q 「ピース・クラブってどういう意味ですか?」

A 「ピースは、piece (一部分)とpeace (平和な暖かいこと)の意味を込めています。ひとつひとつは、一部分かもしれないけど、皆が集まれば、暖かな良いことが生まれます」

こんな話をしていたら、突然、ウサギが横を走り抜けた。

§ 前回 6 月例会の報告 §

(主な話題) ふるさと雇用再生基金の助成を得て行うことになった一つの取り組みである「生石山周辺のガイド・マップ作成」について検討。
柳瀬さん・芝滝さん・大竹さん・上野さん・藤田さんに、当面その方向付けと具体化をお願いした。

§ 次回 7 月例会の予定 §

日時 7 / 5 (日) 13 : 00 ~
場所 山の家おいし
話題 親子自然塾(8月)、生石山の自然講座(9月)の申込状況や準備について。その他。

すすき通信の配信停止・住所変更・すすき通信の内容に関する問合せなどは、編集局の(E-mail)または(TEL)まで。